

メンズパーソナルスタイリスト養成講座



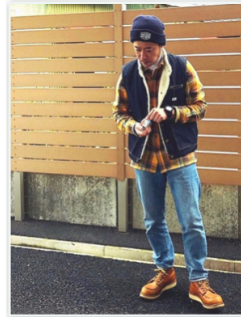
第6講 カジュアルファッションマスター（実践編1春夏）

前回の復習

本講座で扱うカジュアルファッション

メンズファッション

アメカジ



ストリート



モード



きれい目カジュアル



きれい目カジュアルを実践するには・・・

カジュアルファッションマスター 実践編 1 (春夏アイテム)



ジャケット



きれい目カジュアルを表現する上でもっとも効果的で使いやすいのがジャケットです。

カジュアルジャケットの基本



・カジュアル用ジャケットを持っていない場合、まずはベーシックで使い回しの効くネイビーがオススメ。

【着丈】

スーツスタイルでのジャケットよりも短め。着用した時にお尻が半分～3/4隠れる程度。

【袖丈】

手を下ろした状態で親指の先から10～11cm程度。本切羽にするかどうかはお客様に確認します。

【色・柄】

カジュアルシーンなので、基本的にどの色、柄でも可能ですが、チェック柄を用いると洒脱な印象になります。

【素材】

春夏のジャケットの素材は綿、ウール、麻、モヘアなど様々でそれらが混紡で作られていることも多いです。麻100%は涼しいですが、着ジワが出やすい点に注意が必要です。

合わせ方のポイント



ジャケットスタイルで臨む際は

- ・ジャケット
- ・シャツ
- ・パンツ

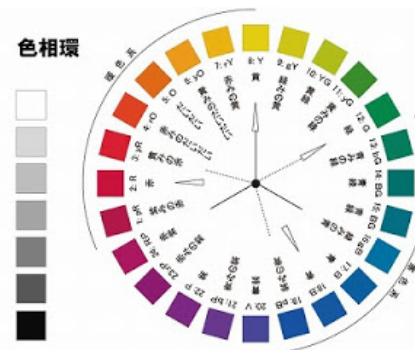
の3アイテムの柄数は1～2がベター。

(柄数0でも勿論OKです。)

左の写真では

柄数は1 (ストライプシャツ) となります。

パンツはデニムでも良いですが、強めのダメージデニムなどを合わせるとロック感が出る場合があります。



アイテム全体のトーンを同系色でまとめると大人っぽい印象に。

モノトーンでまとめると都会的な印象になります。

オススメのカジュアルジャケット



LARDINI (ラルディーニ)

1987年創業した、イタリアのアドリア海に面する港町アンコナにてルイジ・ラルディーニが手掛けるイタリア発のブランド。フラワーモチーフのラペルピンがブランドアイコン。価格は7～12万円台。



TAGLIATORE (タリアトーレ)

TAGLIATOREはイタリア語で「裁断士」の意味。ブランドディレクターのピーノ・レラリオ氏が手がけるこのブランドは着用すると胸周りが強調されて男性らしいスタイルになるのが特徴。価格は11～14万円台。

オススのカジュアルジャケット



T-JACKET (ティー・ジャケット)

イタリアの重衣料ブランド「トネッロ」が2014年春夏に発表した、テーラリングの確かなジャケットをTシャツ感覚で手軽に、よりカラフルに楽しめる新レーベル「T-ジャケット」。とにかく軽くて柔らかいですが、テーラリング技術が確かなので、気崩れしません。価格は7万円台がメイン。



ISAIA (イザイア)

1957年にナポリで創業し、イタリア随一のテーラーとして今日の地位を築いた高級ブランド。仕立ての柔らかさ、肩周りのなだらかなフォルムが特徴。珊瑚のラペルピンがブランドアイコン。価格は20万円台。

オススメのカジュアルジャケット



BEAMS F

ビームスのストアレーベル（ブランド）、日本人特有の体型に沿ったサイジング技術で、着心地の良さを体現。インポートアイテムよりも価格面でもコストパフォーマンスに優れたものも多い。他のセレクトショップオリジナルと比べ、柄ゆきが個性的なものが多いのも特徴。価格は6～10万円程。



UNITED ARROWS green label relaxing

（ユナイテッドアローズグリーンレーベルリラクシング）

ユナイテッドアローズのストアレーベルの一つ。ドレス、カジュアルの双方を展開しているこのブランドのオリジナルジャケットはコスパに優れているものが多い。ベーシックなジャケットを多数展開しています。また、ウォッシュャブル、吸湿速乾などの機能性素材が多いのも特徴です。他のセレクトショップに比べ、低価格で良品が揃います。価格は2～3万円台が中心。

アイテムによっては化繊の光沢が出過ぎているものもあり、注意が必要です。

シャツ



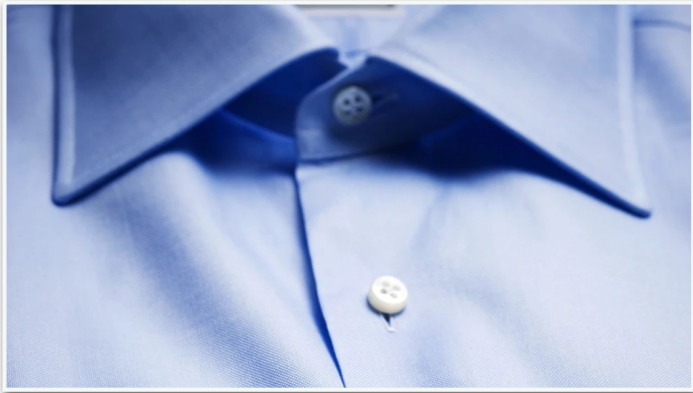
きれい目カジュアルに欠かせないシャツ。どのシーンで使うかによって様々な種類のものがあります。



カジュアルシーンではジャケットのインナーとして着用したり、シャツ単体で着たりと使い方が多様です。

ここでは生地やディテールによる使い方の違いについて掘り下げていきます。

代表的なシャツ生地



ブロード

織りが細かく、生地に光沢が出ているシャツです。ジャケットのインナーに着用することでドレス感を出すことができます。スーツの下に着るシャツをカジュアルシーンで使うイメージです。



オックスフォード

織りが大きく、ざっくりした生地感のシャツです。シャツ単体で着用してもサマになります。ブロード生地比べるとカジュアル感が強いです。

リネン

リラックス感、リゾート感が出るシャツです。麻特有のシワもコーディネートアクセントになります。着心地は勿論、見た目にも涼やかなのが特徴。ただし、シワの入り方には注意が必要です。



シャツの仕立て



スーツスタイルでは**裏前立て**、**ポケットなし**が推奨されますが、カジュアルスタイルでは**表前立て**でも問題ありません。シャツ1枚にアクセント・表情付けをしたいなら、表前立て×ポケットありも良いです。ざっくりしたオックスフォード生地だと無骨で男らしい印象になります。

シャツはインする？アウトする？



シャツの着方としてタックインとタックアウトがあります。これは裾先の仕上げ方で判断。また、ブロード生地ドレスシャツはジャケットのインナーに使われることが多いためタックインする前提で作られていることが多いです。アウトして着たいという要望があれば、場合によってはお直しで裾先の処理を変更します。

リネンシャツ シワの注意点



リネンシャツはシワの風合いも魅力の一つですが、そのシワは「着るうちにできるシワ」です。なので、闇雲にシワが入っていて良いわけではなく、アイロンがけが望ましいです。

NGシャツあれこれ



凝ったディテール



七部袖などのハンパ丈、
過度にタイトなデザイン

こうしたシャツは大人の男性が着ると若い印象、チープ感が出てしまうのでNGです。

半袖シャツ。着る？着ない？



半袖シャツは個人的にはオススメしません。理由はコーディネートが難しいから。インしてもアウトしても「昭和感」がでてしまい、スタイリッシュさに欠ける傾向があります。

ジャケットのインナーとして着ると袖の裏生地を傷めてしまうため、そうした着方にも向きません。

オープンカラーシャツ（開襟シャツ）は？



ただし、オープンカラーシャツは例外です。
このデザインのシャツは良い意味での男臭さ、リラ
ックス感を出すことができるのでオススメです。
ジャケットは着用せず、アウトして着ます。

ボトムスとの合わせ方



長×長 パターン



短×長 パターン



長×短 パターン

トップス×ボトムスは長×長、短×長、長×短が原則です。
短×短の場合、思いっきりリラックススタイルを狙うなら別
ですが、大人エレガントな装いにしたい場合、ローファーや
ニットなどどこかにきれい目アイテムを入れてあげます。

オススメのシャツブランド



ユニクロ

ドレスシャツは高コスパ。ただし作り込みではシャツ専門メーカーには劣るところがあります。カジュアルシャツはデザインによってはチープ感が出るので注意が必要です。



鎌倉シャツ

シャツ専門メーカーの中ではオススメです。6,000円台で良い作りのシャツが入手できます。サイズのラインナップも豊富。ドレス、カジュアルともに良品が揃います。



セレクトショップオリジナル

価格は1,3万円～程度しますが、インポートのシャツと比べても見劣りしないクオリティがあります。縫製、サイジングとも満足度が高いシャツが多いです。写真はBEAMS F。

ボトムス



ジャケットに続く視覚面積を有するのがボトムス（パンツ）です。カジュアルシーンでもきれいに見えるアイテムを解説していきます。

デニム



カジュアルスタイルの中でも最も汎用性が高いボトムスです。
ジャケット～Tシャツ着用時まで幅広く合わせることができます。
ブラックデニム～ホワイトデニムまでありますが、定番は程よく色
落ちしたブルーデニム。過度なダメージデニムはロック感が出てし
まうので安易にオススメしないです。
お客様に勧めやすいのはユニクロのスリムフィットストレート。

チノパン



チノパンとは、チノ・パンツ (chino pants) の略称で、「チノ・クロス」と呼ばれる生地で仕立てたパンツ (ズボン) を指します。もともとチノ・クロスは19世紀中ごろに英国・フランスの軍隊の制服に使われた生地。汚れが目立たないようにカーキやベージュ、茶に染められたと言われています。

スラックス



「スラックス」という言葉の定義は少し曖昧で、ロング丈のパンツ全体のことを表しています。スーツのジャケットに合わせるパンツをスラックスと呼ぶことも多い。クリース（センタープレス）が入ったパンツをスラックスと呼ぶことも。定義は区々ですが、きれい目カジュアルで活躍シーンが多いボトムスです。

スラックスを使ったスタイリング例



Tシャツ×スラックス



シャツ×スラックス

トップスがカジュアルでもスラックスを合わせることで全体が大人っぽく上品にまとまります。

質疑応答タイム

